

高野山真言宗管長 金剛峯寺座主 松長有慶 猊下 御親修

高野山開創一千二百年記念 東日本地区枢議参与檀信徒

お待ち受け特別伝道大会

凜として一千二百年

平成二十六年五月二十六日（月）午後一時開場

東京芸術劇場 東京都豊島区西池袋一―八―一

主催 東日本支所協議会・第二地域伝道団 担当 東京宗務支所



高野山開創
1200年

高野山開創 1200年記念 東日本地区枢議参与・檀信徒

お待ち受け特別伝道大会

お大師様は弘仁7年（816）、時の嵯峨天皇に願ひ出て高野山を下賜され密教の道場を開かれました。平成27年（2015）は、高野山が開創されてから1200年を迎えます。

高野山真言宗では宗祖弘法大師の御心に立ち返りそのご恩に報じるべく『生かせ いのち ~大師のみおしえ いまここに~』の言葉のもと開創1200年を迎えるにあたり全国各地において報恩伝道等の様々な事業を行っております。

平成27年の開創1200年記念大法会の盛儀を祈念し、東日本地区枢議参与檀信徒の皆様とこの勝縁の意義を深く心に刻み共に喜びを分かち合うべく高野山真言宗管長金剛峯寺座主松長有慶猊下を特請しお待ち受け法要を開催いたします。

皆様お誘い合わせいただき多くの方のご参加を賜りますよう、ご案内申し上げます。

合掌

《 飛行三鈷杵 》

唐の都長安、青龍寺の恵果阿闍梨から密教のすべてを授かったお大師様は、帰国にあたり「密教を広めるのにふさわしい地を示したまえ」と願いを込めて東に向かって三鈷杵を投げると、紫雲に乗って飛び去りました。この三鈷杵が着いた場所こそが悠久の聖地、高野の地であり、高野山開創の由縁であります。

この重要文化財の「飛行三鈷杵」を高野山開創のシンボルとして実物から型を起し、霊木で制作した「撫で三鈷杵」が、一年をかけて全国の大師信徒を巡り、この度の法要に合わせて会場にやってきます。様々な願いがかない、悪事災難を払い去ると経典にも説かれる三鈷杵を会場で実際に触れていただき、お大師様の思いと加持力を感じて頂きたいと思ひます。

タイムスケジュール

| | |
|--------|------------|
| 13時 | 開場 |
| 14時 | 開会式 |
| 14時15分 | 授戒・御親教 |
| 14時50分 | 休憩 |
| 15時10分 | 高野山の声明と御詠歌 |
| 16時10分 | 伝道劇「高野への道」 |
| 16時45分 | 閉会式 |



唐の海岸からの投三鈷



高野山開拓 松に掛かる三鈷



— 全国行脚 飛行三鈷 —

東京 芸術 劇場

Tokyo
Metropolitan
Theatre

〒171-0021 東京都
豊島区西池袋 1-8-1
TEL: 03-5391-2111

<アクセス> JR、東京メトロ、東武東上線、西武池袋線池袋駅西口より徒歩2分。池袋駅地下通路の2b出口で直結しています。



申し込み方法

このご案内を頂いた寺院よりお申込み下さい。

入場料

1,000円